

# ひとづくり

## 第13号

弓削商船高等専門学校 情報工学科 広報誌 2017(平成29)年8月発行



## 起業家甲子園で総務大臣賞をゲットしました！

3月7日 東京都品川区で開催された総務省 NICT 主催 第6回「起業家甲子園」において、本校マイコン部のチーム **Knee's Needs -英姿颯走-**：瀬尾 敦生（生産2年）、井上香澄（情報4年）、伊藤清里菜（情報3年）、小山祐佳（情報3年）、村上智哉（情報3年）（指導教員：長尾和彦）が全国から選抜され、総務大臣賞および企業賞5件の栄誉を勝ち取りました。2/20-25 同メンバーはファイナリストの特典でもある「シリコンバレー起業家育成プログラム」にも参加し、シリコンバレーで活躍する方々の講演や企業の見学などを通して知見を深めています。また、本件により4/25 愛媛県知事から愛顔のえひめ賞を受賞しています。

### アメリカ シリコンバレーに行って

伊藤 清里菜（城西中学校卒業）

私はシリコンバレーで沢山のことを学んだのですが、その中でも「Be proactive!」の精神を学んだことが印象に残っています。「Be proactive.」その言葉に込められた意味である、積極的に取り組み、そして諦めない精神力を持つことの大切さを学びました。1つの大きな目標のために、自分からいろいろなことに挑戦してみることはこれからの人生においてとても大切なことだと思います。私も今回学んだことをこれからの高専生活に活かして頑張ります！

## 語学留学からの帰国学生による体験談



2016年3月上旬から2017年2月下旬にかけて、約1年間、アイルランドに語学留学をしました。留学費用は約200万円でした。通っていた語学学校には世界中のあらゆる場所から人が集まっていて、多種多様な文化や価値観をもった人と友達になりました。留学前は、他国の人々と話す際、言語の壁のみならず、文化や価値観の壁が立ちふさがるのではないかと、不安に思っていました。しかし、その考えは一転しました。常に相手に対する尊敬の心をもつこと、また、言いたいことを直截簡明に伝えることを心掛ければ、異国の人も、簡単に笑い合える事がわかりました。



もし今、語学留学に行く事を逡巡している後輩がいるのなら、迷わずに行動することを強く勧めます。留学は、未来の自分に対する期待値の高い投資だと思います。留学にかかる費用は安くはないですが、その経験を通して身につく語学力や人間力は、それ以上の価値があります。また、語学留学を終え、ある友人は、毎月世界中に遊びに行き、ある友人は国際結婚し、

私は海外で起業するという夢をもちました。このように、人生が大きく変わるかもしれません。これを含め、皆さんに、このチャンスを逃して貰いたくありません。

私は、英語が特別得意だったわけではありませんが、留学を終え、TOEIC800点前後レベルまで上がりました。今後は、資格としての英語だけでなく、グローバルに活動するためのツールとしての英語を鍛えて行くつもりです。

(情報工学科5年 越智 舜介)

※この他に、香川聖雄君がカナダ、荻田優海さんがフィリピンとアメリカで語学留学を経験しました。

## オープンキャンパスを開催

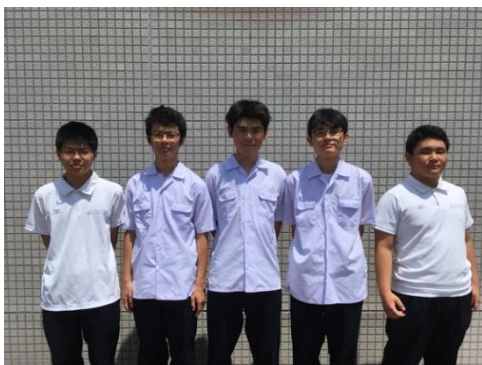


本年度の第1回オープンキャンパスが7月22、23日に開催されました。情報工学科の見学コースでは、学科の概要説明、"プロコン作品紹介・創造性実験の展示"、"卒業研究作品の展示"、"プログラムによるゲーム制作体験"、"ロボット展示"等のイベントを開催しました。当日は、猛暑にもかかわらず2日間で131名の中学生とご家族96名に参加していただきました。各イベントでは、専攻科生と本科5年生が中心となり説明や運営を担当し、見学者からは「しっかりした発表だった」、「ゲームづくりが楽し

かった」、「コンピュータを利用していろいろなものがつくれるものですね」等のご意見をいただきました。

11月11、12日は、本校の学園祭(商船祭)が開催されます。それと同時に第2回オープンキャンパスも開催しますので、今回参加できなかった方は是非ご参加いただき、情報工学科の様子を知っていただければと思います。

## 課題部門、競技部門の2チームが本選へ 第28回全国高専プロコン



毎年優秀な作品で注目を集めている全国高等専門学校プログラミングコンテスト。今年度は174チームの応募の中、本校からは課題1、競技1の2チームが予選を通過しました。今年の競技部門は1年生チームとなり、プログラミングの基礎からのチャレンジ、夏休み返上でシステム開発に取り組む予定です。本選は10月8日、9日に周南市文化会館（山口県）で開催されます。

○課題部門： BLOOD ピット！

○競技部門： 人機共闘

## 小学生の学習能力向上支援に弓削商船学生が協力



弓削小学校では、学校の中で子供たちの学習が完結するようにインターネットを活用した学習支援ツールを導入しています。放課後、塾に通う代わりに支援ツールの問題を印刷し、1,2名の小学校教員が毎日児童の対応をしていますが、十分な対応が出来ない状況です。情報工学科では、地域創生演習の一環として、7月から5年生の有志12名を交代で派遣して、小学生の勉強の支援を行っています。児童からも質問も出るようになり、弓削小教員からも感謝の声をいただいています。

## 情報工学科2年の航海実習



帝人（株）松山事業所にて

情報工学科2年生（41名）が、4月25日から1泊2日の日程で弓削丸による航海実習と企業見学に参加しました。大半の学生は、弓削丸での航海は初めてで、船内での規律ある生活や団体行動を体験しました。企業見学では、松山市内のIT系企業（サイボウズ株式会社と株式会社ファインデックス）と帝人株式会社を見学しました。帝人（株）では、実際の製品や工場での業務内容について説明を受け、IT企業では実際のオフィスを見学し、学生達は熱心に質問していました。航海実習後、「どの会社で働いてみたいか？」について

たずねたところ、IT系を希望する学生が多く、「情報技術を通して医療分野やコミュニケーションを助ける仕事に携わりたい」等の回答がありました。なお、航海実習は、「海事工学演習1」の履修単位として認定されます。

## 今年も教員が日本学術振興会科学研究費を獲得

研究者	研究課題	研究資金
田房 友典	水域ネットワークを構成して底質を一括走査する協調型環境調査船システムの開発	442万円

## 全国高専体育大会 情報工学科の出場者

7月8日から16日の期間に開催された四国地区高専体育大会（弓道は中四国地区高等専門学校弓道大会）を勝ち抜き、本校の情報工学科から全国高専体育大会へ出場する学生と大会日程は次のとおりです。

同好会から部となった弓道部では松本さん（I2）が女子個人の部で優勝という創部後初の好成績を収めました。

- 【陸上競技】 8月26日、27日（松本平運動公園陸上競技場）  
男子砲丸投，男子円盤投： 高瀬玄渉（I2）  
男子4×100mリレー，男子4×400mリレー： 牧野 一生（I5）  
男子110mH： 肥田唯斗（I4）
- 【卓球】 8月19日，20日（ひたちなか市総合運動公園総合体育館）  
女子シングルス： 長野桃和（I1），馬越 早恵（I5）
- 【水泳】 8月26日（栃木県立温水プール館）  
男子400mリレー，男子200m自由形： 佐光 彪（I3）
- 【弓道】 8月30日，31日（茨城県弓道場）  
女子個人の部： 松本琴葉（I2）



陸上競技場にて



卓球競技会場にて



弓道競技会場にて



水泳競技会場にて



国立弓削商船高等専門学校

〒794-2593 愛媛県越智郡上島町弓削下弓削 1000 番地

<http://www.yuge.ac.jp/> 0897-77-4620

題字：馬越 唯（平成23年度情報工学科卒業生）

コンピュータ教育を通して、社会に役立つ「ひとづくり」を目指します。